

# 学びあい育ちあい推進審議会 平成31年4月定例会要点録

平成31年4月18日（木曜）

出席委員	学校教育の関係者	
	委員	山 川 毅
	委員	關 口 寿 也
	社会教育の関係者	
	委員	青 木 ひとみ
	家庭教育関係代表	
	委員	鵜 澤 千 秋
	委員	大 原 立 江
	学識経験者	
	委員	炭 谷 晃 男
	公民館利用者代表	
	委員	浅 井 智 子
	委員	野 口 享 子
	公募市民	
	委員	鯨 井 俊 彦
	委員	水 島 穂乃香
	文化財保護審議会代表	
	委員	内 野 秀 重
	欠席委員	委員
委員		梅 澤 佳 子
出席職員	教 育 部 長	須 田 雄 次 郎
	教育企画担当課長	加 藤 大 輔
	文化財担当課長	藤 田 純
	永山公民館長	北 方 静 史
	関戸公民館長	安 達 仁
	図書館長	横 倉 妙 子
	図書館本館整備担当課長	萩 野 健 太 郎
	文化・市民協働課長	古 谷 真 美
スポーツ振興課長	鈴 木 隆 史	

(開会時刻：14時30分)

議事録署名委員：水島委員

## 配布資料

### 〔協議事項〕

- 1 平成31年度成人教育関係団体補助金の交付について・・・【資料 1】
- 2 平成31年度多摩市文化団体連合への補助金交付について・・・【資料 2】
- 3 (仮称)多摩市新教育振興プラン策定に関する意見(案)について・・・【資料 3】
- 4 平成31年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会  
第3ブロック研修会について・・・【資料 4】

### 〔報告事項〕

- 1 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会  
第2回理事会について・・・【資料 5】
- 2 公共施設使用料の改定案について・・・【資料 6】
- 3 平成30年度教育連携コーディネーター研修(第2回)について・・・【資料 7】
- 4 第10回子ども読書まつり「ほんともフェスタ」について・・・【資料 8】
- 5 関戸公民館の改修工事について・・・【資料 9】
- 6 平成31年度公民館年間事業計画について・・・【資料10】
- 7 公民館事業進捗状況について・・・【資料11】
- 8 公民館施設使用状況について・・・【資料12】
- 9 (仮称)ポッチャ2020 TAMAカップ(案)について・・・【資料13】
- 10 旧多摩聖蹟記念館デザインの天皇陛下御即位  
記念乗車券販売について・・・【当日配布】

### 〔連絡事項〕

- 1 平成31年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会  
定期総会について・・・【資料14】

会 長： 本日欠席の委員は、小泉委員と梅澤委員である。ただいまの出席委員は11名で、定足数に達しているので平成31年多摩市学びあい育ちあい推進審議会4月定例会を開始する。会議録署名委員は水島委員。

教育企画担当課長： — (配布資料の確認) —

### 〔協議事項〕

- 1 平成31年度成人教育関係団体補助金の交付について・・・【資料 1】

教育企画担当課長： 社会教育法第13条の規定に基づき、多摩市立小学校PTA連絡協議会と多摩市立中学校PTA連合会から申請のあった補助金交付について、本審議会へ意見聴取させていただくものである。

多摩市立小学校PTA連絡協議会からの申請額は10万円であり、事業計画としては、小P連講演会(永山公民館共催)、市長・教育長懇談会、総会、全体会等を予定している。事業内容は、「補助事業等の効果説明書」にあるように、多摩市立各

小学校PTAが加盟している小P連は、各PTAの横の連携、行政との連携、学校や地域などとの連携・調整をしている。年3回の全体会では、PTA活動全体に関する意見・情報交換を行っている。年1回の市長・教育長懇談会では、行政と直接情報交換・懇談を行うことで現状を教育委員会に伝え、教育委員会・市長から意見をいただいている。永山公民館と共催の講演会では、その時々々の保護者が興味・関心を抱いていることの講師を招いている。以上の活動で補助金を活用することにより、勉強会及び講演会に質の向上、各校PTA間の交流、連携による問題解決をより一層効果的に行うことができる。

多摩市立中学校PTA連合会の申請額は5万円である。例年と同じく、年に1回会員研修会、委員研修会等を開催する。「補助事業等の効果説明書」にあるとおり、中P連は多摩市立中学校PTA相互の連絡協議を密にし、会員の研修・親睦を図り、中学校教育の振興に寄与することを目的として活動している。毎年8月に開催する会員研修会「都立高校説明会」は、今年度で16回目となる。40校を超える都立高校の先生をお招きし、2,000名を超える生徒・保護者が参加して進路選択の参考にしている。この他にも、情報交換等を行い、小P連同様横の連携を深めながら活動をしている。

会 長： 何年か前から審議しやすいように、活動及び補助金の必要性について書いた「補助事業等の効果説明書」をつけている。毎年同様な申請があり、内容・金額に変化はない。よろしいか。

質 疑 ・ 意 見      なし

## 2 平成31年度多摩市文化団体連合への補助金交付について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 2】

文化・市民協働課長： 多摩市文化団体連合から提出がされました平成31年度補助金概算交付申請に基づき補助金を交付するに当たり、社会教育法第13条の規定により、意見聴取させていただきたい。

本補助金は多摩市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、文化団体連合から市長に対して、100万円の概算交付申請があった。多摩市文化団体連合は本要綱第2条各号に掲げる補助金交付対象団体のうち、芸術文化に関する団体で構成される連合体で、本補助金の対象となる事業は、要綱の第3条各号に掲げる事業を実施するための活動である。

補助金交付に必要な資料は、2の(1)～(8)であり、「平成30年度活動決算書」も参考のため提出した。平成31年度活動予算書の収入の部について、本補助金として100万円、業務委託収入として240万円、その他事業収入等加え、当期収入合計を549万円と計上している。支出の部について、事業費と日常の管理運営費の合計が同額となっている。一番下の繰越金は、次年度の4月5月の運営費として計上したものである。「補助事業の効果説明書」にあるとおり、『多摩の文化(市民文化祭編)』〔机上配布〕の発行、多摩市民文化祭の企画運営、他市文化交流協会との交流、団体独自の活動として「夏まつり文化体験」等を実施をし、広

く市民文化の発展に寄与するための活動している。

文化芸術活動の支援については、多摩市第五次総合計画の中でも、市民がデザインするまち多摩の創造、市民が主体的に地域課題の解決に取り組むまちの施策の一つとして、市民の豊かな心を育み地域の活性化に資するものとして位置づけられている。地域コミュニティの衰退が問題となっている中で、市民が主体となった文化芸術活動による人と人との結びつき、地域の絆作りの基盤という点でも、多摩市文化団体で提供する文化芸術の紹介や体験の機会は、市では大変重要な活動の一つであると認識している。

会 長： 毎年同額の申請だが、意見等はあるか。

委 員： 芸術文化に関する団体ということで、効果説明で芸術文化の位置づけ、文化の役割を記載してはどうか。ここに書かれているのは実績に近いことなので、効果面を記載するとわかりやすい。

会 長： 先程の小P連・中P連にも共通することである。

### 3 (仮称) 多摩市新教育振興プラン策定に関する意見(案)について・・・・・・・・・・【資料 3】

教育企画担当課長： 昨年教育委員会から、(仮称)多摩市新教育振興プラン策定に向けて意見聴取させていただき、1・2月定例会で基本方針・教育目標について審議した。いただいた意見を事務局でまとめたのがこの意見(案)である。構成としては、国の方向性と社会状況の変化を踏まえたうえで、学校教育、社会教育、家庭教育をそれぞれまとめ、最後にそれらが関連していることをその他に入れている。事前に意見(案)を委員に送付したが、特に意見はなかった。本日の協議を踏まえて修正したものを次回5月定例会で決定したい。

会 長： 意見(案)をまとめるにあたって、「第3期教育振興基本計画」、「社会教育・生涯学習の重要性」に触れることや、学校教育では「ESD、SDGs」、「学校運営協議会、地域学校協働活動」が複数の方から意見があり盛り込まれている。社会教育では「地域課題の解決、地域社会づくり」、「大人の学び、自己実現を図るための支援」、「文化・芸術」に触れられ、家庭教育では「家庭における教育力向上」、「相談機関の連携、地域と家庭の連携」が盛り込まれている。みなさんの発言がそのままではないが、その趣旨を盛り込んだ文章になっている。一つ気になるのが、体育・スポーツが触れられていないことである。教育の三本柱の「知・徳・体」にもあり、今年はラグビーワールドカップ、来年はオリンピック・パラリンピックの年でもあり、単なるイベントに終わらずいかに子どもたちに伝えるのか。この審議会は社会教育について審議する場であり、学校教育に地域の方が入って体力づくり、スポーツの指導をするなど、地域と学校が協働する趣旨でも要素が入ると良いのではないか。このことについて意見等はあるか。

質 疑 ・ 意 見 なし

会 長： スポーツに関する記述を加えるかについては、事務局と調整していく。

教育企画担当課長： スポーツに関する記述は検討する。最終案について、5月の審議会まで連休がある

ため、事前に送付することが難しい。通常の事前資料送付の際に送付するので、お目通しいただきたい。

#### 4 平成31年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について・・【資料 4】

教育企画担当課長： 10月5日の第3ブロック研修会の開催に向けて、これまで協議を進めてきたが、本日は、事例発表の内容と発表者について検討していただきたい。また、各市との情報交換で委員がファシリテーターの役割を担う意見が出たので、必要な事前準備についてもご意見いただきたい。

2月の理事会で東京都市町村社会教育委員連絡協議会の統一テーマ(案)が示された。「学びと活動の循環をつくる～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進」ということで、個人の学びが学びで終わるのではなく、その成果を地域の活動の中で積極的に生かすことで、人とつながるとともに、誰かの役に立っているという喜びをもたらし、より積極的にコミュニティに参画する熱意や、地域の課題解決のために新たな学びを求めるといった、持続的な学びと活動の循環を目指す。

今年度の第3ブロック研修会(案)について、令和元年10月5日(土)13時30分から、会場は関戸公民館大会議室、テーマは「学校・家庭・地域の連携・協働について」である。構成としては、第1部は多摩市の実情・現状の発表を行い、①(30分発表+15分質疑)を2組で90分間、②(45分発表+15分質疑)の60分の2パターンがある。発表者としては、①教育連携コーディネーター・地域学校協働活動推進員から各地域・学校での取り組みや協力者の声、児童・生徒の様子を、②小・中学校長から学校を経営する視点からお話しいただく、③地域教育力支援コーディネーターから地域学校協働活動に関する制度の説明や市全体の活動状況について、④学識経験者から制度の説明、社会教育委員としてできること、今後の展望等についての4パターンが考えられる。第2部の情報交換では、グループに分かれて多摩市の委員がファシリテーターとして入り、各市・地域の取り組み状況や今後の活動についての情報交換を45分間ずつ2回行う。構成の部分について協議・決定いただきたい。

会 長： 第3ブロック研修会が今年度の審議会にとって大きなイベントになる。これまで複数回にわたって協議し、日時・会場・テーマを決めた。

第1部について、(30分発表+15分質疑)を2回では少し長いのではないかと。発表者を1人ではなく、2人20分ずつ発表し、10分ずつ質疑でトータル60分はどうか。2人にすることにより、制度・全体の説明と個別の活動の組み合わせで多摩市の取り組みについて知ってもらい、後半の情報交換につなげるのはいかがか。

委 員： 校長先生の話の後に、コーディネーターの活動発表をするのが良いと思う。前回のブロック研修会では事例発表が中心だったと記憶している。前回から参加者のメンバーも変わっているので、地域教育力支援コーディネーターから10分程度多

摩市の制度について説明し、校長先生の立場からの考えを話していただき、実際の活動をコーディネーターに発表していただく。

会 長： 制度的な説明は簡単で良い。皆さんが知りたいのは具体的な活動である。場合によっては、3人発表するのも良い。校長先生が発表するのか、小・中学校のコーディネーターそれぞれにお話しいただくかについて、意見はあるか。

委 員： 前回多摩市が幹事市だったブロック研修会に出席していないので、その時のことについて教えていただきたい。90分では長かった、60分では短かった等。

教育企画担当課長： 時間までは把握していないが、地域教育力支援コーディネーターから事例発表があり、その後意見交換が行われた。各校のコーディネーターの発表はなく、発表者は1人であった。

会 長： 発表の中で、スライドを使って各学校の活動紹介があった。

副 会 長： スライドを用いた網羅的な説明であった。

教育企画担当課長： 60分程度だったのではないか。

委 員： 学校を助けていただく地域の活動なので、校長が発表するのは趣旨が違うのではないか。

委 員： 校長先生方の考えを伺いたい。どのような考えに基づいて地域の方と関わっているかの本音、校長先生の立場からの意見、現状の課題や今後より良く改善するためにできることはあるのか等。

会 長： それぞれの審議会や社会教育委員の中には、校長も含まれているが、ブロック研修会の参加者は地域の方が多いと予想される。同じ立場の方への事例紹介、集まった方への情報提供で考えると地域の方がふさわしい。

委 員： 地域教育の視点から研修を行うのであれば、地域の方の活動をまずは紹介するのが良いのではないか。校長先生の考え方はコーディネーターに伝える。

会 長： 集まった方々が学校とも関わっているならば、自分たちの活動に対して学校がどのように考えているかについて関心があると思うので、少し触れて情報提供していただくのも良い。何を取り上げるかについては、今後事務局と相談していく。これまでの意見をまとめると、第1部は60分程度、その中で全体の説明と個別ケースを2つほど紹介するので良いか。第2部は90分で、45分ずつメンバーを変えて2回情報交換を行う。多摩市の委員はそれぞれのグループでファシリテーターとして意見を促していただくので良いか。

質 疑 ・ 意 見 なし

会 長： テーマについて、都市社連協の統一テーマが示されたので、関連性を持つために、「学びと活動の循環をつくる一学校・家庭・地域の連携・協働について」にするのはいかがか。

質 疑 ・ 意 見 なし

#### 〔報告事項〕

1 平成30年度東京都市町村社会教育連絡協議会第2回理事会について・・・・・・・・・・ 【資料 5】

教育企画担当課長： 2月26日に理事会が開催され、報告事項1件、協議事項5件であった。報告事項1は12月に開催された交流大会・社会教育委員研修会の報告であり、本審議会では1月定例会で報告したので割愛する。協議事項1は平成30年度都市社連協表彰について、炭谷会長が4月20日の定期総会で表彰される。協議事項2は平成31年度統一テーマ(案)について、先程協議事項4(本審議会)で示した通りである。協議事項3は関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について、2021年度の開催に向けて実行委員会が組織される。構成メンバーは令和3年度の拡大役員会、平成30年度・平成31年度・令和2年度の会長市であり、多摩市は含まれていない。また、平成31年度から特別会計で予算を立てていく。協議事項4の定期総会は後ほど説明する。協議事項5は毎年12月に開催される交流大会について、1部は各ブロック研修会の報告、2部は社会教育研修としての講演会の構成になっている。2部の講演会を市民等も参加を可能にする。

質 疑 ・ 意 見      なし

## 2 公共施設使用料の改定案について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 6】

教育企画担当課長： 令和2年4月から多摩市公共施設使用料の改定を予定している。本審議会では1月定例会の時に改定案を示したが、特に意見はなかった。学校開放は今回改定がなく、八ヶ岳少年自然の家は消費税率の改定が反映された改定料金、ベルブ永山駐車場も改定はない。旧多摩聖蹟記念館・古民家は、1月に示した改定案から変更があり、「柔軟な料金設定、利用承認の新設」を加えた。今回の改定では、消費税率の改定を反映した料金になっているほか、「早期割引」、「直前割引」を追加し、利用率の向上を図っていく。こちらの改定案は3月25日の教育委員会で協議され、4月8日に決定している。今後は6月に条例改正し、十分な周知期間を経て来年4月に料金を改定する予定である。

会 長： 文化財の施設の料金が、早期・直前割引という形で利用を促す制度になった。功を奏して、利用率が上がると良い。

## 3 平成30年度教育連携コーディネーター研修(第2回)について・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 7】

教育企画担当課長： 3月1日に平成30年度2回目の教育連携コーディネーター研修が行われた。小・中学校別に開催され、小学校のコーディネーター13名、中学校のコーディネーター4名のほか、コーディネーター候補1名、本審議会の水島委員が参加された。内容は、連絡事項①多摩ボランティア・市民活動支援センターとの連携について、課題となっている人材集めに対して、多摩ボランティア・市民活動支援センターにあるボランティア登録制度を活用して活動の周知及び人材集めをする。1月に開催されたボランティア祭りで教育振興課のブースを出したところ、1名登録いただいた。今後も様々なイベントで活動の周知及びボランティア登録を広めていきたい。②地域学校協働本部への移行とコミュニティ・スクールの導入予定、③平成31年度地域未来塾の実施について説明した。

平成30年度は、今後活動を広めるにあたり、地域・家庭・学校の教職員に活動を周知するために広報誌の作成に取り組んできた。まとまった段階で、本審議会でも報告をしていきたい。最後にコーディネーター間で情報交換を行った。小学校の部では課題となっている人材集めについて、中学校の部では地域未来塾について意見・情報交換が行われた。

平成31年度は、地域学校協働活動研修として、5月30日に「学校の環境整備から始まる教育」を多摩永山中学校の協力を得て実施する。参加対象者は、地域学校協働活動推進員・教育連携コーディネーター・地域学校協働本部・PTA等に広げている。興味・関心ある方は事務局にご連絡ください。

質疑・意見 なし

#### 4 第10回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について・・・・・・・・・・ 【資料 8】

図書館長： 子どもの読書活動の推進をテーマに、子どもが本やおはなしに親しめるイベントを図書館、市立小・中学校等でおはなし会ボランティア団体等のみなさんと協力・企画して、毎年度3月ごろに全市的に実施している。実施期間は、2月28日から3月31日の1ヶ月間であった。①オープニングおはなし会をグリナード永山2階で行い、市内のおはなし会ボランティア団体が出演し、参加者は108名であった。グリナード永山でのおはなし会は初めての試みであったが、たまたま通りかかった親子なども参加し、楽しい時間となった。②展示をグリナード永山及び図書館本館で行った。グリナード永山の会場のみでも約3,000人がご覧になった。③講演会&ワークショップ（講師：中澤日菜子）は、「小説が本屋に並ぶまで」をテーマに開催し、24名が参加した。講師が用意した小説を読んで、タイトル・表紙・帯をグループで話し合う等の作業を行った。

アンケートのコメントでは、「英語の読み聞かせが初めてで新鮮でした」「紙芝居を体験したが普段できないことができて楽しかった」「学校図書館の取り組みが知れて良かった、学校図書館と市立図書館との連携を知るきっかけになったので今後も活動を続けてほしい」「編集者の仕事の話がおもしろかった、作家の仕事の内容を知ることができて作家になりたい気持ちが膨らんだ」「本物みたいな本ができて楽しかった」等の感想があった。

当日、鶴澤委員も参加されたので、感想を伺いたい。

委員： 3月2日のオープニングおはなし会で、「おはなしチャチャチャ」として活動に参加した。広い場所で読み聞かせをするのが初めてだったので不安だったが、両側にパネルの展示があったので意外とこじんまりとしてできた。ただ天井が高いため、声が聞こえているのか意識しながら行った。自分たちの課題として、聞き手が見やすい本の持ち方や声出しの重要性を改めて実感し、課題も見つかり良い勉強になったので次回も参加したい。

会長： マイブックを作ることは聞いたことあるが、「売る」という発想から色々考えると広がりがある試みだと思った。



5 関戸公民館の改修工事について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 9】

関戸公民館長：今年度、20年目の改修工事を行う。期間は今年12月から来年7月上旬を予定している。大きい工事としては、市民ロビーの天井の張替えがある。概ね7か月間予定しており、振動・騒音が予想されるためホールの使用を制限している。併せてギャラリーが市民ロビーの代替という形で、喫茶の利用、休憩場所となるため工事期間中はギャラリーとして利用できない。第1学習室・第2学習室は作業員の詰め所になるので工事期間中は利用できない。ホールは、機器等の更新工事により、1月から3月は使用できない。それ以外の期間は、他の工事の騒音によりホールの使用に影響が出るだろう。ただし、土・日・祝日は騒音が出る工事は行わないようにしている。したがって、12月までと7月上旬以降及び土・日・祝日はリハーサル、本番が通常的环境の中でできる。平日は、騒音の影響を受けない練習等で利用できる。休館工事中の抽選については、6月～12月分の受付がすでに始まっている。ホームページ、たま広報、関連施設等でチラシを配布して周知している。

質疑・意見 なし

6 平成31年度公民館年間事業計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料10】

永山公民館長：永山公民館・関戸公民館共通の柱建てとして、1. 地域・生活課題を考える事業、2. 学校・家庭教育支援事業、3. 市民・時事問題講座事業、4. 地域活性化事業、5. 市民文化活動支援事業、6. 情報発信事業がある。昨年度と大きな変更点はない。

昨年、1. (3) 地域課題講座について、コミュニティセンターと連携して事業を実施したが、今年度は拡大実施する計画を立てている。2. (7) 「家庭教育学級・家庭教育講座」は昨年度までは教育振興課が所管していたが、組織改正を受けて永山公民館に移管した。

関戸公民館長：1. (1) 地域貢献講座では、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの講座を行ったが、昨年コミュニティビジネスへの申し込みが0名、ソーシャルビジネスへの申し込みは3名であったため、今後どのように実施するかは現在検討中である。2. (2) 薬物乱用防止講座は昨年度2校で実施しており、今年度は拡大実施していきたい。

会長：ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス講座への参加申し込みが少なく残念である。多摩大学に、多摩市域で様々なコミュニティビジネスを立ち上げている方がいるので一緒にできると良い。

オリンピック・パラリンピックと関連する事業を公民館で実施する予定はあるか。

関戸公民館長：ギャラリーを活用するなど、オリンピック・パラリンピック推進室と共催で事業を進めていく。現在、市民ロビーでオリンピック・パラリンピックのPRをしている。

会長：オリンピックそのものの歴史やオリンピック精神について学ぶ機会があると良い。多摩市出身でいままでオリンピック・パラリンピックに出た方の紹介など、様々な企画が考えられる。

7 公民館事業進捗状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料11】

8 公民館施設使用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料12】

永山公民館長： 永山公民館の事業はすべて終了した。オリンピック・パラリンピックに関連する事業として、教育委員会で力を入れているボッチャの体験会等をギャラリーで実施し、連携している都立多摩桜の丘学園の生徒の作品の展示を併せて行っている。3月30日にはグリナード永山の協力を得て2階のつばさ広場で、ボッチャ選手を招いて体験会を実施した。買い物に来た方も気軽に参加することができ、130名ほどの参加者であった。

施設の使用人数は例年通りである。昨年2月はベルブホールの設備改修工事があったため、平成30年2月が5,673人に対して、平成31年2月は7,592人であり、1,919人増となった。

関戸公民館長： 「地域貢献講座」の参加申込者が1名であったため、講座が中止となった。その他の事業は昨年並み、もしくは昨年より多い参加者をもって今年度の事業は終了した。「人形劇まつり」の参加者は延べ3,000人と昨年、一昨年よりも多い。「マンスリーコンサート」は毎月実施しているが、延べ参加者1,900人越えということで、毎月のコンサートには約120名が参加している。「What's JAZZ」は昼夜1回ずつを4セット年間で実施し、各回200人以上の参加があった。2月の施設使用率は60.8%であり、昨年60.7%と大きく変わらない。3月の施設使用率も、昨年54.5%に対して今年57.3%と例年と大きく変わらない使用率であった。

質疑・意見 なし

9 (仮称)ボッチャ2020 TAMAカップ(案)について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料13】

教育企画担当課長： 1月の審議会後にみなさんで体験したボッチャについて、先程永山公民館長からもあった通り、現在教育委員会で障がい者理解ということで、力を入れて取り組んでいる。昨年度、児童館や放課後子ども教室のリーダー、青少年問題協議会、障がい者ふれあいスポーツ大会等でボッチャの紹介をしてきた。体験会も公民館や児童館で実施した。多くの方が体験し、楽しさ・おもしろさを実感した。来年度東京2020パラリンピック競技大会が開催されるので、これに向けてボッチャの大会を開催したいと考えている。

来年の春に本大会を予定しており、ボッチャをユニバーサルスポーツとして捉え、小・中学生、地域の方、障がい者が一緒に参加できる。地域の大学・企業の支援もいただきながら、運営・協力では都立多摩桜の丘学園が中心となって、地域の青少年問題協議会や国士舘大学等と実行委員会を組織して大会を開催する。昨年度は、体験会等を通してボッチャに触れて、知っていただき、今年度は秋にプレ大会を予定している。ボッチャが重度脳性麻痺者や四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツであるので、バリアフリーの環境が整っている都立多摩桜の丘学園を会場としてプレ大会を実施する。子どもを中心に考えているが、大人も楽しめるスポ

ーツであり、「ポッチャカフェ」（アクアブルー食堂）の開催を通じて、交流のツールにもなり得るなどの広がりを持たせることができた。

会長： オリンピック・パラリンピックのレガシーを感じさせる取り組みであり、活動を通して障がい者理解が深められると良い。情報提供として、市長会の市町村共同事業の中で、武蔵野市が500万円の助成金で「ポッチャ多摩カップ」を実施する。

#### 10 旧多摩聖蹟記念館デザインの天皇陛下御即位記念乗車券販売について・・・・・・・・・・【当日配布】

文化財担当課長： 旧多摩聖蹟記念館がデザインされた天皇陛下御即位記念乗車券が5月1日に販売される。京王電鉄から発表され、旧多摩聖蹟記念館と改修前の聖蹟桜ヶ丘駅の写真が載っている。旧多摩聖蹟記念館は、明治天皇、皇太子時代の大正天皇・昭和天皇、その他の皇族がウサギ狩り、鮎漁をしに訪れたことから、昭和5年に明治天皇を讃えて建てられたものである。聖蹟桜ヶ丘駅の「聖蹟」も天皇行幸を由来として、関戸駅から改名したものである。記念乗車券は、5月1日の始発の時間から各主要駅にて3,000セット限定で発売され、多摩市のみ京王桜ヶ丘駅と京王多摩センター駅とで市内2駅で販売される。

新元号を記念した新宿発京王八王子駅行臨時座席指定列車「京王ライナー平成→令和号」が運行される。新宿駅を23時45分に出発し、乗車中に元号が変わり、0時12分に聖蹟桜ヶ丘駅に到着する。1本438座席数限定である。

質疑・意見 なし

#### 〔連絡事項〕

#### 1 平成31年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について・・・・・・・・・・【資料14】

教育企画担当課長： 4月20日に定期総会（武蔵野公会堂）が開催される。内容としては、平成30年度の事業・決算報告、平成31年度事業計画・予算を予定している。講演会では、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんをお招きする。欠席の場合は、委任状の提出をお願いしたい。

質疑・意見 なし

会長： 以上で、本日の予定は全て終了した。次回は、5月16日木曜日14時30分より、第二庁舎会議室で行う。

（1時間53分）

（閉会時刻16時23分）

会議規則第10条第4項によりここに署名する。

令和元年5月16日

会長

委員